



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月3日

上場会社名 キックマン株式会社
 コード番号 2801 URL <https://www.kikkoman.com/jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀切 功章
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 臼井 一起

TEL 03-5521-5811

四半期報告書提出予定日 2020年8月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	108,090	6.5	9,765	7.5	9,947	10.9	6,954	12.8
2020年3月期第1四半期	115,642	3.5	10,553	4.5	11,162	11.2	7,975	12.3

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 8,971百万円 (624.6%) 2020年3月期第1四半期 1,238百万円 (90.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円銭	円銭
2021年3月期第1四半期	36.22	
2020年3月期第1四半期	41.54	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	388,814	282,512	71.4
2020年3月期	387,329	277,757	70.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 277,428百万円 2020年3月期 272,434百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2020年3月期		21.00		21.00	42.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2021年3月期(予想)の配当金につきましては未定としております。なお、配当予想額は開示が可能となった時点で公表いたします。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、国内外ともに売上への影響が想定されます。感染防止のための外出規制や自粛、経済活動の再開時期など、各国の状況が未だ不透明であり、今期の業績予想を立案することが困難な状況です。業績予想については、予測可能となった時点で公表いたします。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	193,883,202 株	2020年3月期	193,883,202 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	1,908,998 株	2020年3月期	1,908,731 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	191,974,319 株	2020年3月期1Q	191,977,334 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、国内外ともに売上への影響が想定されます。感染防止のための外出規制や自粛、経済活動の再開時期など、各国の状況が未だ不透明であり、今期の業績予想を立案することが困難な状況です。業績予想については、予測可能となった時点で公表いたします。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

第1四半期決算補足説明資料は、TDnetで本日開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期における世界経済は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の大流行の影響により、極めて厳しい状況にありました。

当社グループにおいても、各地域でその影響が生じました。当社グループの売上は、国内については、しょうゆ、食品、酒類共に前年同期に及ばず、飲料は順調に推移したものの、食料品製造・販売事業全体で前年同期を下回りました。海外については、食料品製造・販売事業は前年同期を上回ったものの、食料品卸売事業は前年同期を下回りました。

その結果、当第1四半期の連結業績は次の通りとなりました。

<連結業績>

(単位:百万円, %)

区 分	前年同四半期		当第1四半期		対前年同四半期			為替差	為替差除	
	2019年4月1日～ 2019年6月30日		2020年4月1日～ 2020年6月30日		金 額	%	売上 比差		金 額	%
	金 額	売上比	金 額	売上比						
売 上 高	115,642	100.0	108,090	100.0	△7,552	93.5	—	△1,788	△5,764	95.0
営 業 利 益	10,553	9.1	9,765	9.0	△787	92.5	△0.1	△273	△514	95.1
経 常 利 益	11,162	9.7	9,947	9.2	△1,215	89.1	△0.5	△256	△959	91.4
親会社株主に帰属 する四半期純利益	7,975	6.9	6,954	6.4	△1,021	87.2	△0.5	△186	△834	89.5
USD	110.00		107.74		△2.26					
EUR	123.29		118.94		△4.35					

<報告セグメント>

(単位:百万円, %)

区 分	前年同四半期		当第1四半期		対前年同四半期			為替差	為替差除		
	2019年4月1日～ 2019年6月30日		2020年4月1日～ 2020年6月30日		金 額	%	売上 比差		金 額	%	
	金 額	売上比	金 額	売上比							
国内 食料品製造 ・販売	売 上 高	45,550	100.0	44,316	100.0	△1,233	97.3	—	—	△1,233	97.3
	営業利益	3,151	6.9	2,787	6.3	△363	88.5	△0.6	—	△363	88.5
国内 その他	売 上 高	5,373	100.0	5,190	100.0	△183	96.6	—	—	△183	96.6
	営業利益	503	9.4	413	8.0	△89	82.2	△1.4	—	△89	82.2
海外 食料品製造 ・販売	売 上 高	23,724	100.0	24,368	100.0	644	102.7	—	△632	1,276	105.4
	営業利益	4,905	20.7	5,188	21.3	283	105.8	0.6	△169	452	109.2
海外 食料品卸売	売 上 高	48,440	100.0	40,969	100.0	△7,471	84.6	—	△1,219	△6,251	87.1
	営業利益	2,384	4.9	1,762	4.3	△622	73.9	△0.6	△76	△545	77.1
調整額	売 上 高	△7,446	100.0	△6,754	100.0	691	—	—	63	627	—
	営業利益	△391	—	△387	—	4	—	—	△28	32	—
四半期連結 損益計算書 計上額	売 上 高	115,642	100.0	108,090	100.0	△7,552	93.5	—	△1,788	△5,764	95.0
	営業利益	10,553	9.1	9,765	9.0	△787	92.5	△0.1	△273	△514	95.1
USD	110.00		107.74		△2.26						
EUR	123.29		118.94		△4.35						

各報告セグメントの業績の概要は次の通りであります。

【国内】

国内における売上の概要は次の通りであります。

(国内 食料品製造・販売事業)

当事業は、しょうゆ部門、つゆ・たれ・デルモンテ調味料等の食品部門、豆乳飲料・デルモンテ飲料等の飲料部門、みりん・ワイン等の酒類部門からなり、国内において当該商品の製造・販売を手がけております。各部門の売上の概要は次の通りであります。

当四半期は、新型コロナウイルス感染症の影響により、家庭内需要が増加し、外食産業が急速に冷え込んだために加工・業務用分野の需要が減少しました。

■しょうゆ部門

しょうゆは、家庭用分野では、「いつでも新鮮」シリーズが更に売上を伸ばし、「こいくちしょうゆ」などのペットボトル品も前年同期を上回りました。加工・業務用分野は、前年同期を下回りました。この結果、部門全体としては前年同期の売上を下回りました。

■食品部門

つゆ類は、「濃いだし本つゆ」を中心に好調に推移したため、全体として前年同期を上回りました。たれ類は、主力商品である「わが家は焼肉屋さん」シリーズが好調に推移したものの、加工・業務用分野が苦戦したことにより、前年同期を下回りました。「うちのごはん」は、新型コロナウイルス感染症の影響による急激な需要拡大を受け、主力品の供給を優先すべく一部商品の休売を実施、販売促進自粛の影響もあり、前年同期を下回りました。デルモンテ調味料は、家庭用分野が伸ばしたものの、加工・業務用分野が減少し、前年同期を下回りました。この結果、部門全体としては、加工・業務用分野が前年同期を下回ったため、前年同期の売上を下回りました。

■飲料部門

豆乳飲料は、健康志向の高まりを背景に無調整豆乳が伸ばし、飲用だけでなく料理素材として豆乳を使う消費者も増えており、順調に売上を伸ばしました。家庭内需要の増加により1L容器を中心として売上が伸び、前年同期の売上を上回りました。

デルモンテ飲料は、無塩野菜ジュースなどの野菜ジュースが堅調に推移したものの、トマトジュース、果汁飲料が振るわず、前年同期の売上を下回りました。この結果、部門全体として前年同期の売上を上回りました。

■酒類部門

本みりんは、家庭内需要の増加もあり、家庭用分野では、高付加価値商品の「米麴こだわり仕込み本みりん」や「濃厚熟成本みりん」などが売上を伸ばしましたが、加工・業務用分野で大型容器が減少したため前年同期を下回りました。ワインは、ホテル・レストラン需要の減少により加工・業務用分野が前年同期を下回り、前年同期の売上を下回りました。この結果、部門全体として前年同期の売上を下回りました。

以上の結果、国内 食料品製造・販売事業の売上高は443億1千6百万円（前年同期比97.3%）、営業利益は27億8千7百万円（前年同期比88.5%）と、減収減益となりました。

(国内 その他事業)

当事業は、臨床診断薬・衛生検査薬・加工用酵素、ヒアルロン酸等の化成品等の製造・販売、不動産賃貸及び運送事業、グループ会社内への間接業務の提供等を行っております。

化成品等は、臨床診断薬やヒアルロン酸は前年同期を下回ったものの、衛生検査薬が伸ばし、前年同期の売上を上回りました。運送事業は前年同期を下回りました。この結果、部門全体としては前年同期の売上を下回りました。

この結果、国内 その他事業の売上高は51億9千万円（前年同期比96.6%）、営業利益は4億1千3百万円（前年同期比82.2%）と、減収減益となりました。

【海外】

海外における売上の概要は次の通りであります。

海外でも、家庭用分野では、新型コロナウイルス感染症の影響により家庭内需要が増加しました。一方で業務用分野では、外食産業が急速に冷え込み、業務用需要が減少しました。

(海外 食料品製造・販売事業)

当事業は、しょうゆ部門、デルモンテ部門、海外における健康食品等のその他食料品部門からなり、海外において当該商品の製造・販売を手がけております。各部門の売上の概要は次の通りであります。

■しょうゆ部門

北米市場においては、家庭用を中心に主力商品であるしょうゆに加え、しょうゆをベースとした調味料などの拡充に引き続き力を入れており、当社のブランド力を活かした事業展開を行ってまいりました。この結果、全体としては前年同期の売上を上回りました。

欧州市場においては、主要市場であるイギリス、ドイツなどで売上を伸ばし、前年同期の売上を上回りました。

アジア・オセアニア市場においては、中国市場では新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、前年同期の売上を下回りました。一方で、東南アジア、オーストラリアでは売上を伸ばし、全体としては前年同期を下回りました。

この結果、部門全体では前年同期の売上を上回りました。

■デルモンテ部門

当部門は、アジア・オセアニア地域で、フルーツ缶詰・コーン製品、トマトケチャップ等を製造・販売しております。部門全体で前年同期の売上を上回りました。

■その他食料品部門

当部門は、主に北米地域において、健康食品を製造・販売しております。

部門全体では現地通貨ベースで前年同期の売上を上回りました。

以上の結果、海外 食料品製造・販売事業の売上高は243億6千8百万円（前年同期比102.7%）、営業利益は51億8千8百万円（前年同期比105.8%）と、増収増益となりました。

(海外 食料品卸売事業)

当事業は、国内外において、東洋食品等を仕入れ、販売しております。

北米では、外出自粛等により外食産業全体の減少が大きく、前年同期を下回りました。また、欧州、アジア・オセアニアでも同様の理由により前年同期を下回りました。この結果、前年同期の売上を下回りました。

この結果、海外 食料品卸売事業の売上高は409億6千9百万円（前年同期比84.6%）、営業利益は17億6千2百万円（前年同期比73.9%）と、減収減益となりました。

以上の結果、当第1四半期の連結業績は、売上高は1,080億9千万円（前年同期比93.5%）、営業利益は97億6千5百万円（前年同期比92.5%）、経常利益は99億4千7百万円（前年同期比89.1%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は69億5千4百万円（前年同期比87.2%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、1,590億5千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億8千1百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が増加したものの、受取手形及び売掛金が減少したことによるものであります。固定資産は、2,297億5千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ19億6千6百万円増加いたしました。これは主に、投資有価証券が増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、3,888億1千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億8千5百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、587億6百万円となり、前連結会計年度末に比べ30億8千4百万円減少いたしました。これは主に、短期借入金が増加したものの、支払手形及び買掛金、未払金が増加したことによるものであります。固定負債は、475億9千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億8千5百万円減少いたしました。これは主に、繰延税金負債が増加したものの、退職給付に係る負債が減少したことによるものであります。

この結果、負債の部は1,063億1百万円となり、前連結会計年度末に比べ32億7千万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の部は、2,825億1千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ47億5千5百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金、その他有価証券評価差額金が増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は71.4%（前連結会計年度末は70.3%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、国内外ともに売上への影響が想定されます。感染防止のための外出規制や自粛、経済活動の再開時期など、各国の状況が未だ不透明であり、今期の業績予想を立案することが困難な状況です。業績予想については、予測可能となった時点で公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	30,088	33,503
受取手形及び売掛金	61,145	56,683
有価証券	—	156
商品及び製品	43,255	41,583
仕掛品	11,798	12,034
原材料及び貯蔵品	5,901	6,218
その他	8,543	10,087
貸倒引当金	△1,192	△1,209
流動資産合計	159,540	159,058
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	55,200	55,141
機械装置及び運搬具(純額)	44,751	44,719
土地	20,900	20,861
リース資産(純額)	15,841	15,714
建設仮勘定	7,705	7,492
その他(純額)	4,669	4,564
有形固定資産合計	149,067	148,493
無形固定資産		
のれん	4,164	4,027
その他	5,004	4,921
無形固定資産合計	9,168	8,949
投資その他の資産		
投資有価証券	57,672	60,138
長期貸付金	1,881	2,024
退職給付に係る資産	4,934	5,854
繰延税金資産	3,416	3,227
その他	3,799	3,226
貸倒引当金	△2,153	△2,159
投資その他の資産合計	69,552	72,312
固定資産合計	227,788	229,755
資産合計	387,329	388,814

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,414	21,068
短期借入金	5,311	10,191
リース債務	2,437	2,429
未払金	19,249	14,002
未払法人税等	3,297	2,912
賞与引当金	2,662	1,004
役員賞与引当金	129	30
その他	5,288	7,066
流動負債合計	61,791	58,706
固定負債		
長期借入金	13,602	13,602
リース債務	13,997	13,923
繰延税金負債	6,847	7,754
役員退職慰労引当金	732	692
環境対策引当金	31	3
退職給付に係る負債	7,243	6,246
その他	5,326	5,373
固定負債合計	47,780	47,594
負債合計	109,571	106,301
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,599	11,599
資本剰余金	13,695	13,695
利益剰余金	244,044	246,965
自己株式	△3,641	△3,643
株主資本合計	265,697	268,617
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,012	15,522
繰延ヘッジ損益	△0	6
為替換算調整勘定	△4,376	△5,168
退職給付に係る調整累計額	△2,898	△1,549
その他の包括利益累計額合計	6,736	8,810
非支配株主持分	5,322	5,084
純資産合計	277,757	282,512
負債純資産合計	387,329	388,814

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	115,642	108,090
売上原価	69,701	64,454
売上総利益	45,941	43,635
販売費及び一般管理費	35,388	33,870
営業利益	10,553	9,765
営業外収益		
受取利息	68	39
受取配当金	514	553
持分法による投資利益	22	20
受取賃貸料	178	184
為替差益	1,785	474
デリバティブ評価益	52	119
その他	292	334
営業外収益合計	2,914	1,725
営業外費用		
支払利息	180	121
為替差損	109	60
デリバティブ評価損	1,073	23
その他	941	1,339
営業外費用合計	2,305	1,544
経常利益	11,162	9,947
特別利益		
有形固定資産売却益	—	51
投資有価証券売却益	148	—
特別利益合計	148	51
特別損失		
固定資産除却損	—	21
投資有価証券評価損	21	80
ゴルフ会員権評価損	15	—
特別損失合計	37	102
税金等調整前四半期純利益	11,273	9,896
法人税等	3,165	2,826
四半期純利益	8,108	7,069
非支配株主に帰属する四半期純利益	132	115
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,975	6,954

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	8,108	7,069
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,351	1,479
繰延ヘッジ損益	△40	6
為替換算調整勘定	△4,416	△964
退職給付に係る調整額	△10	1,360
持分法適用会社に対する持分相当額	△51	19
その他の包括利益合計	△6,870	1,901
四半期包括利益	1,238	8,971
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	956	9,028
非支配株主に係る四半期包括利益	281	△56

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱いの適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(令和2年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	国内 食料品製 造・販売	国内 その他	海外 食料品製 造・販売	海外 食料品 卸売	計		
売上高							
外部顧客への売上高	45,042	1,789	20,485	48,324	115,642	—	115,642
セグメント間の内部 売上高又は振替高	507	3,583	3,238	116	7,446	△7,446	—
計	45,550	5,373	23,724	48,440	123,088	△7,446	115,642
セグメント利益	3,151	503	4,905	2,384	10,944	△391	10,553

- (注) 1. セグメント利益の調整額 △391百万円は、主に全社費用配賦差額であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	国内 食料品製 造・販売	国内 その他	海外 食料品製 造・販売	海外 食料品 卸売	計		
売上高							
外部顧客への売上高	43,660	1,785	21,803	40,840	108,090	—	108,090
セグメント間の内部 売上高又は振替高	656	3,404	2,565	129	6,754	△6,754	—
計	44,316	5,190	24,368	40,969	114,844	△6,754	108,090
セグメント利益	2,787	413	5,188	1,762	10,152	△387	9,765

- (注) 1. セグメント利益の調整額 △387百万円は、主に全社費用配賦差額であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。